

【施策評価調査】

施策名	5-4-2	体験型・伝統芸能子ども教室の開催		122	高根沢町の文化・芸術を振興、発展に向け、文化活動参加機会の充実、優れた文化芸術鑑賞機会の提供、伝統芸能指導体制の強化などに積極的に取り組みます。 その一つとして、伝統文化、伝統芸能に直接触れる機会を提供することで、ものを大切に育てる心と、文化・芸術を身近に感じられることとなり、町の活性化、ふるさと意識の醸成を図ることとなります。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	教育部生涯学習課	担当	社会教育担当		
		リーダー	横塚恵子		
環境変化	特になし				体験型教室、伝統芸能教室、高齢者と児童とが交流する機会(むかしあそび)を積極的に提供し、郷土の歴史に関する理解を促し、ふるさと高根沢への意識高揚を図ります。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標 : 体験型教室年間参加者数(人)		計画	50人	60人	70人	80人	100人
	新規	実績	217人	257人	258人		
指標 : 伝統芸能教室参加者数(人)		計画	50人	60人	70人	80人	100人
	新規	実績	465人	503人	603人		
指標 :		計画					
		実績					
指標 :		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	563,000	747,000	549,000		
	決算	152,839	655,259	392,674		

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
体験型・伝統芸能子ども教室開催事業費	当初 549,000	参加者数	A	様々な体験事業を実施することにより、町の伝統文化芸能に触れさせ、後世の子どもたちに広く伝える機会を提供することができた。			
	決算 392,674	929人 / 700人		今後の方向性(自己評価)	統合	今後の方向性(総合評価)	統合
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

施策事後評価 20年度の検証

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	目標値を大幅に上回る参加者を得て、実施できたことは評価する。しかし、町の伝統芸能を後世に伝えていく(指導者の協力が難しい状況にあるので、事業のもち方を検討しなければならない。 なお、当事業は「5-2-1 自然体験活動への支援」施策に統合し、青少年を対象とする一体的な自然体験活動事業として事業の整理をする。	高根沢町の文化伝統芸能を後世に引き継いでいくために、高根沢町の文化財保存の関係者の方々と一緒に町の伝統文化芸能の掘り起こしなども行いながら伝えていく。この伝承には、町内の指導者の協力が必須である。
総合評価	積極的に施策展開されていると評価する。 ただし、後期計画策定に向け、単発的に事業を行うのではなく、自己所管の施策や他の分野の施策などと組み合わせにより、一層の成果をあげていくなど、手法を改善すること。生涯学習は自由な発想が可能な分野であるので、他課や関係機関、NPO団体、地域の指導者等との連携を図った施策展開(他の施策との統合などを視野に入れた)を検討すること。 また、それに併せて施策指標も見直すこと。	